

2023年度 健康科学大学 卒業生アンケート(卒業後1年・3年経過)

—結果報告—

2024年 3月

健康科学大学

調査概要

1.調査目的

本調査は、健康科学大学卒業生の皆様から本学に対する忌憚のない意見をうかがい、お寄せいただいた意見を今後の大学の運営に活用するため実施する。

2.調査対象 健康科学大学を卒業し、3年(2021年3月卒業/2020年9月卒業)を経過した方及び1年(2023年3月卒業)を経過した方

3.調査方法 配付・回収

4.調査実施時期 配付日時:2023年11月28日 回収期限:2023年12月26日

5.依頼数、回収数、回収率

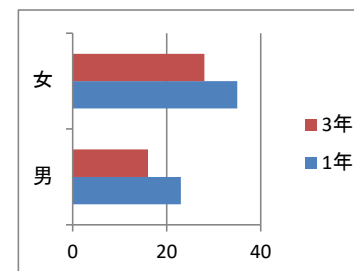
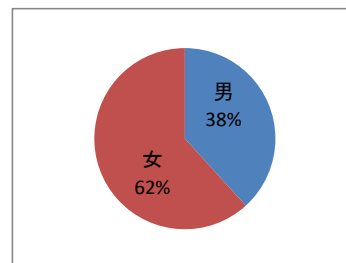
区分	調査対象	依頼数	回収数	回収率
合計	対象者	390	102	26.15%
卒業期別	2021年卒業	211	44	20.85%
	2023年卒業	179	58	32.40%

問1.性別

合計	男	女
	39	63

回答数102

卒業後	男	女
1年	23	35
3年	16	28

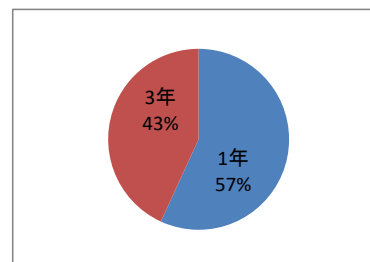


問2.卒業後の年数

合計	1年	3年
	58	44

回答数102

卒業後	
1年	58
3年	44

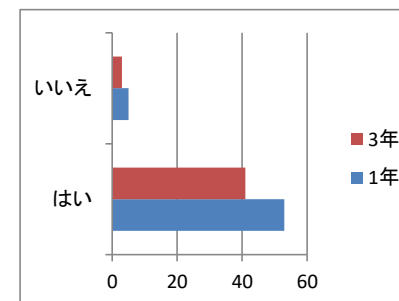
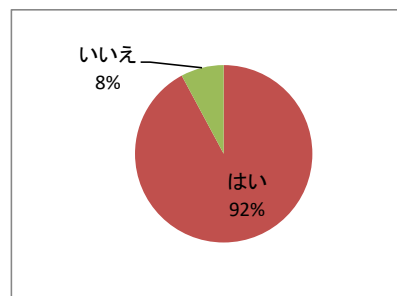


問3.関連業務への就職

合計	はい	いいえ
	94	8

回答数102

卒業後	はい	いいえ
1年	53	5
3年	41	3

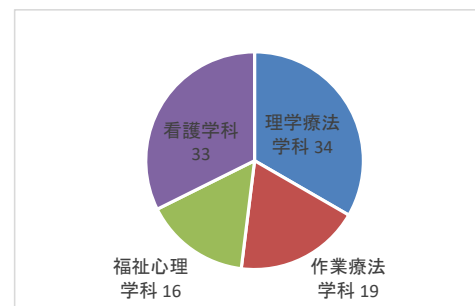


問4.卒業学部学科

合計	理学療法学科	作業療法学科	福祉心理学科	看護学科
	34	19	16	33

回答数102

卒業後	理学	作業	福祉	看護
1年	17	12	9	20
3年	17	7	7	13

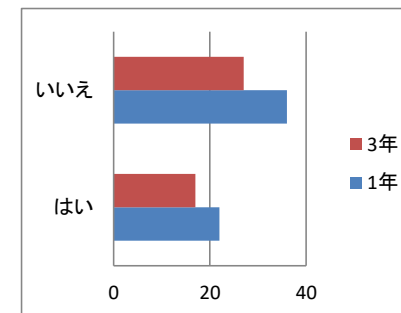
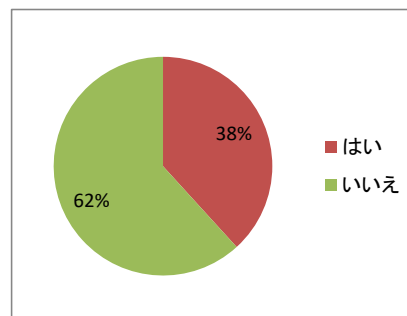


問5.サークル所属

合計	はい	いいえ
	39	63

回答数102

卒業後	はい	いいえ
1年	22	36
3年	17	27

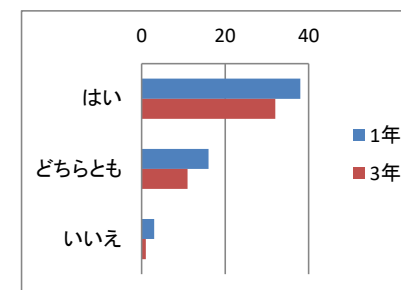
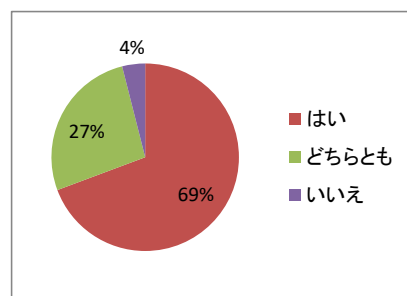


問6.カリキュラムの充実

合計	はい	どちらとも	いいえ
	70	27	4

回答数101

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	38	16	3
3年	32	11	1

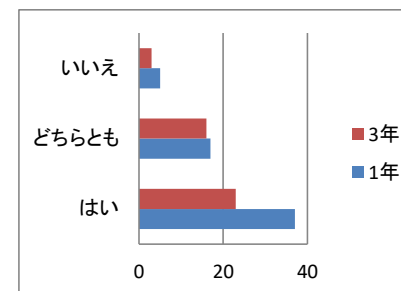
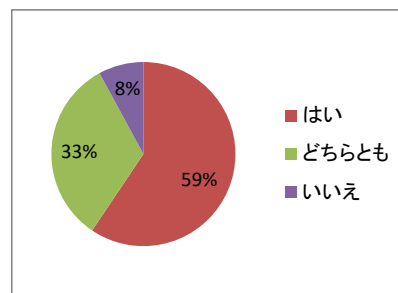


問7.就職活動支援の充実

合計	はい	どちらとも	いいえ
	60	33	8

回答数101

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	37	17	5
3年	23	16	3

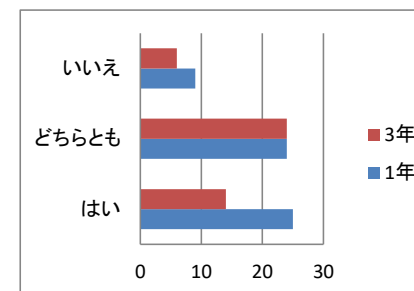
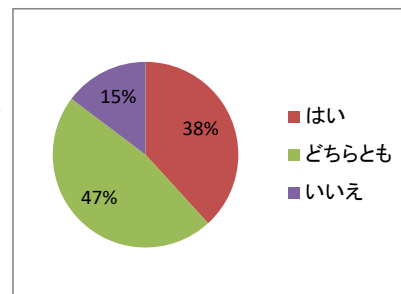


問8.経済的支援の充実

合計	はい	どちらとも	いいえ
	39	48	15

回答数102

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	25	24	9
3年	14	24	6

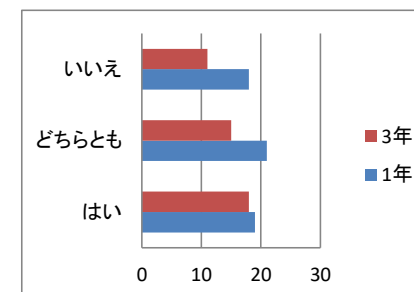
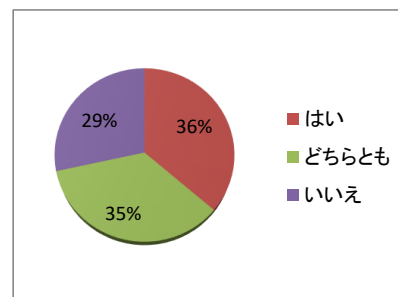


問9.施設・設備の充実

合計	はい	どちらとも	いいえ
	37	36	29

回答数102

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	19	21	18
3年	18	15	11

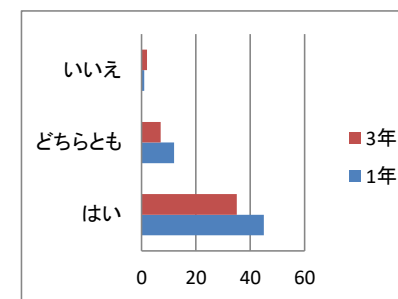
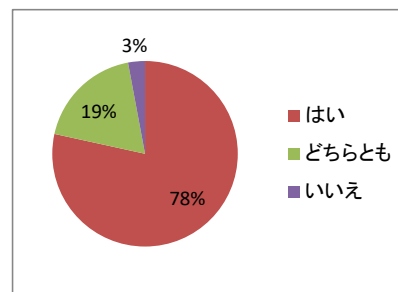


問11.修得した知識・技術の役立ち

合計	はい	どちらとも	いいえ
	80	19	3

回答数102

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	45	12	1
3年	35	7	2

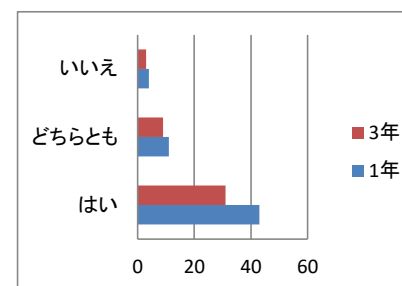
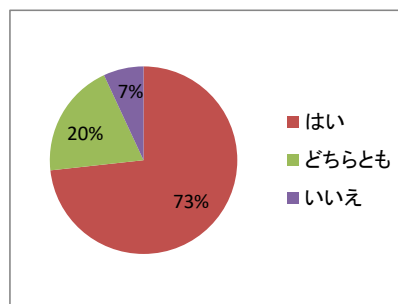


問12.臨床実習等の役立ち

合計	はい	どちらとも	いいえ
	74	20	7

回答数101

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	43	11	4
3年	31	9	3

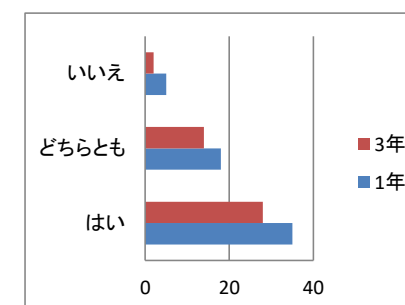
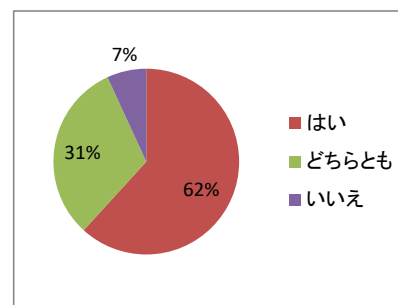


問13.社会的スキルの役立ち

合計	はい	どちらとも	いいえ
	63	32	7

回答数102

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	35	18	5
3年	28	14	2

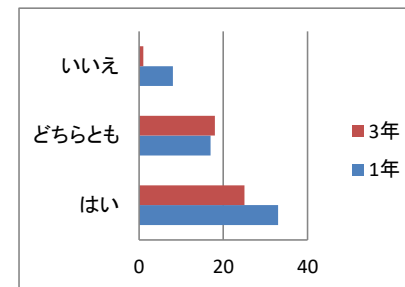
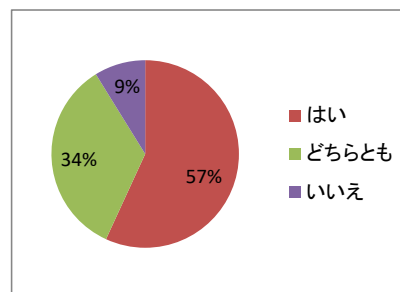


問14.現在の仕事に満足

合計	はい	どちらとも	いいえ
	58	35	9

回答数102

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	33	17	8
3年	25	18	1

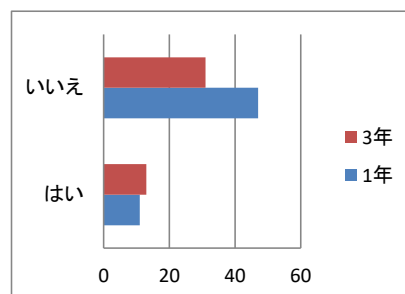
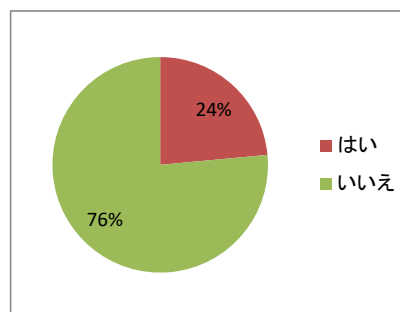


問15.研究等への取り組み

合計	はい	いいえ
	24	78

回答数102

卒業後	はい	いいえ
1年	11	47
3年	13	31

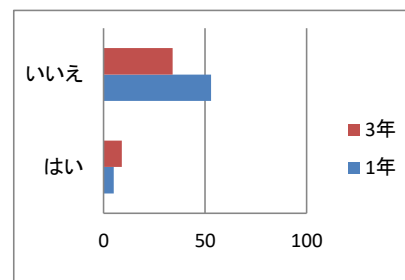
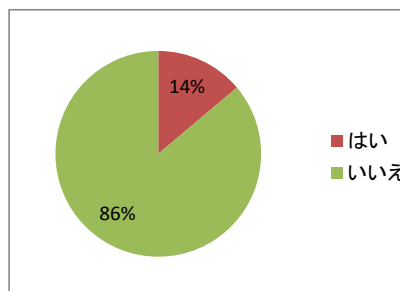


問16.研究発表の有無

合計	はい	いいえ
	14	87

回答数101

卒業後	はい	いいえ
1年	5	53
3年	9	34

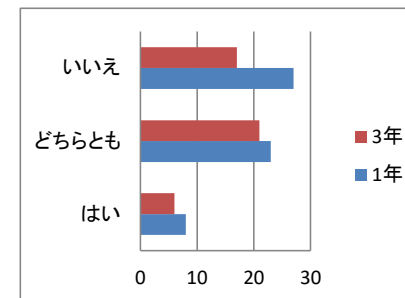
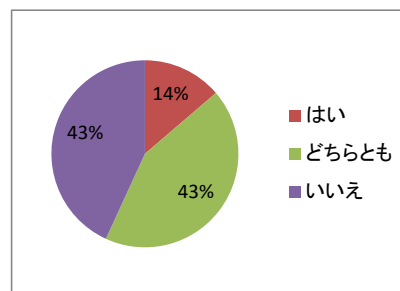


問17.本学を利用しての研究の要望

合計	はい	どちらとも	いいえ
	14	44	44

回答数102

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	8	23	27
3年	6	21	17

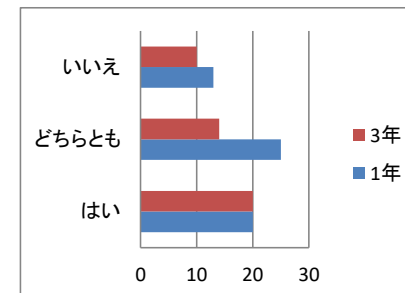
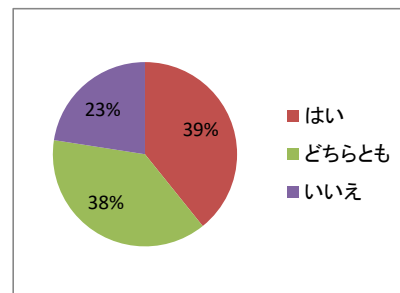


問18.仕事への自己投資に積極的か

合計	はい	どちらとも	いいえ
	40	39	23

回答数102

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	20	25	13
3年	20	14	10

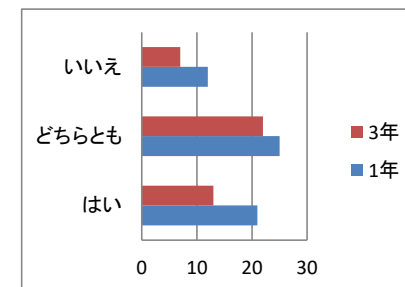
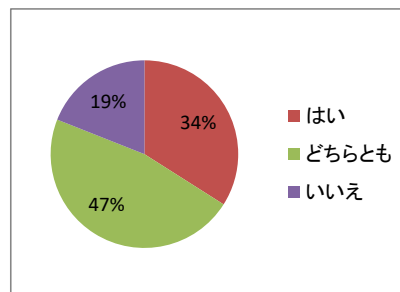


問19.仕事の将来のビジョンがあるか

合計	はい	どちらとも	いいえ
	34	47	19

回答数100

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	21	25	12
3年	13	22	7

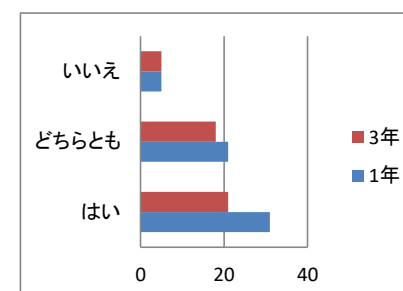
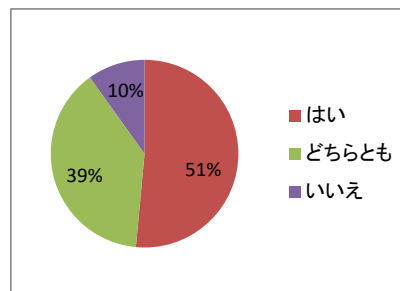


問21.本学への協力

合計	はい	どちらとも	いいえ
	52	39	10

回答数101

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	31	21	5
3年	21	18	5

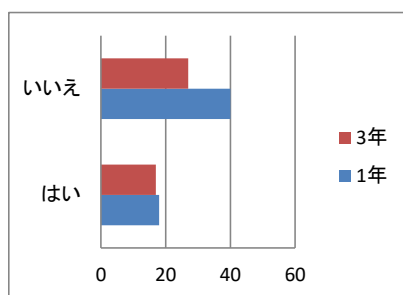
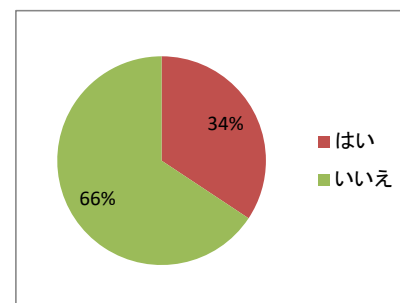


問22.卒業後の来校

合計	はい	いいえ
	35	67

回答数102

卒業後	はい	いいえ
1年	18	40
3年	17	27

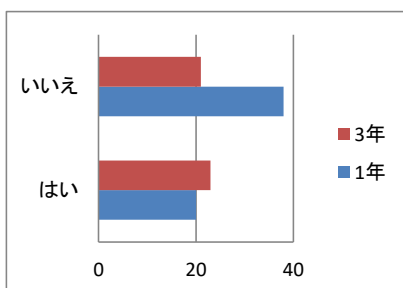
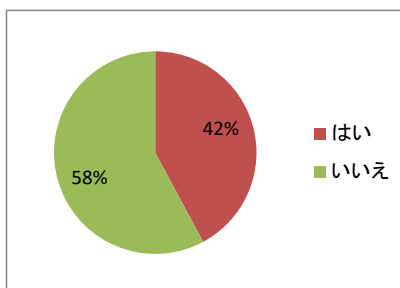


問23.本学のHPを見たか

合計	はい	いいえ
	43	59

回答数102

卒業後	はい	いいえ
1年	20	38
3年	23	21

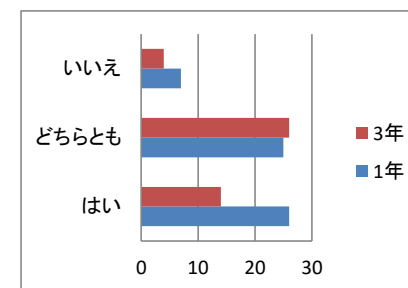
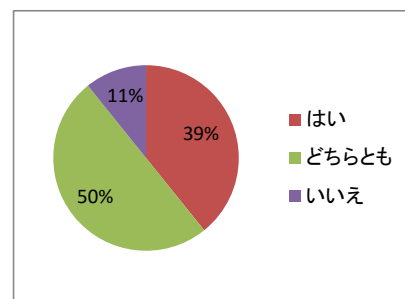


問24.情報発信の充実

合計	はい	どちらとも	いいえ
	40	51	11

回答数102

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	26	25	7
3年	14	26	4

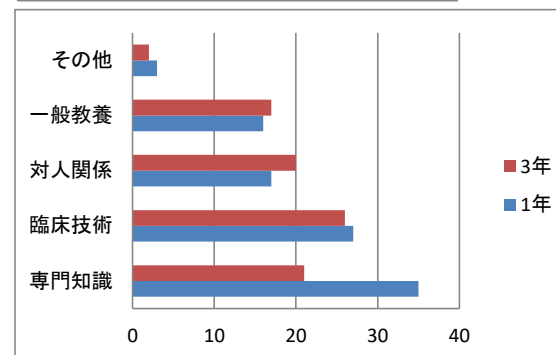
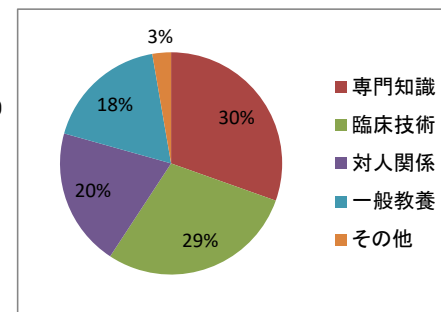


問25.教育内容充実のために力を入れるべき分野(複数回答あり)

合計	専門知識	臨床技術	対人関係	一般教養	その他
	56	53	37	33	5

回答数140

卒業後	専門知識	臨床技術	対人関係	一般教養	その他
1年	35	27	17	16	3
3年	21	26	20	17	2

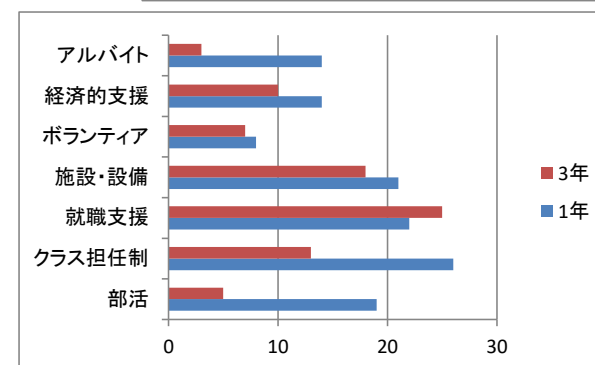
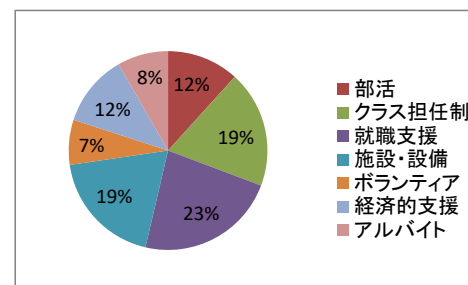


問26.人間形成のために学生支援を充実させるべき分野(複数回答あり)

合計	部活	クラス担任制	就職支援	施設・設備	ボランティア	経済的支援	アルバイト
	24	39	47	39	15	24	17

回答数181

卒業後	部活	クラス担任制	就職支援	施設・設備	ボランティア	経済的支援	アルバイト
1年	19	26	22	21	8	14	14
3年	5	13	25	18	7	10	3

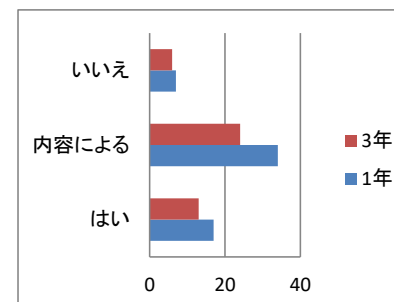
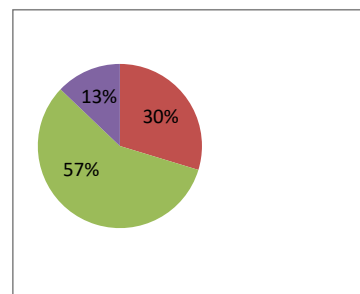


問27.卒業教育への参加

合計	はい	内容による	いいえ
	30	58	13

回答数101

卒業後	はい	内容による	いいえ
1年	17	34	7
3年	13	24	6



自由回答 問6～9について

入学期	性別	学部		
17期生	女性	健康科学	施設・設備	コロナであまり学校に行けてないので良くわからない
17期生	男性	健康科学	施設・設備	コロナで食堂のご飯が食べれなかった。唐揚げ食べて卒業したかった。
17期生	男性	健康科学	施設・設備	コロナに入って学食が無くなった事が残念だった
17期生	男性	健康科学	施設・設備	コロナの影響があり、学内施設の利用に制限が掛かっていたのが残念でした。
17期生	男性	健康科学	施設・設備	在学中 2年くらい食堂が休業していたため不便であった
17期生	女性	健康科学	施設・設備	学食が復活しなかった。
17期生		看護	カリキュラム	例えば、県内の病院別で一日の病棟の流れについての具体的な情報が貰えたら、学生から就職までの逆算がしやすく効率的な学習に挑めたと思う。また、チームでの動きや、各処置、対応にどれくらい時間が必要かの推測をトレーニングしておけば早い段階で学生の頃学んだ看護計画の立案を上手く取り入れられたと思います。富士吉田看護専門学校の学生達と明らかに病棟内の情報量が違うため、現場での学習効率は専門生と比べると悪いと感じました。よく、「人と比べては自分の成長に繋がらない」とアドバイスをいただく事が多いです。山梨県だけではなく全国の看護師に言われます。しかし、先輩方はどうしても相対評価しがちであり、その環境は新人教育に関して専門知識のない看護師が多いため今後すぐには変えることはできないと思います。全国的に新人看護師のお話を伺っても、1～2年目の看護師は先輩のストレスのはけ口になりやすいです。この現状を受け止め、徹底的な対処方法をクリティカルに学習することと、ストレスコーピングをの重要性を今後も伝えて頂き、真摯にスキルアップできる環境を新人からもアブローチして行く事が今の限界だと思います。医療職は特殊な環境と片付けられがちですが、他職種企業に比べたら日本の新人育成水準は明らかに低いです。今の私には何も出来ませんが、今後、現場での看護師育成水準が向上することを願っています。大切なのはストレスのはけ口として利用される1年目、2年目看護師が最低3年目まで健康的にスキルアップできることと思います。
17期生		看護	施設・設備	中華まんやホットスナックは欲しかったです
17期生		看護	施設・設備、就職活動	図書館の事務員さんが新書や就職に関する資料など、積極的に教えてくれたので助かりました。
17期生		看護	施設・設備	看護部に食堂は本当に欲しかったです。コロナであまりできませんでしたが、上下の交流イベントなどはあった方がよいと思います
17期生		看護	施設・設備	学食がなかったのが辛かったです。また、他県の就活情報が少なくて困りました。
14期生		健康科学	施設・設備	コロナ禍で実習も中止になり、大変だった
14期生		健康科学	施設・設備	コロナ禍で食堂が使用出来なくなった為、他の施設(自動販売機、売店の品数)を充実させてほしい。
14期生		健康科学	施設・設備	食堂が充実していなかった(営業時間、品数、価格)
14期生		健康科学	施設・設備	図書館を自由に使えて、国家試験勉強にととても役立ちました。
14期生		看護	施設・設備	看護学部のキャンパスにも食堂があればありがたかったです
14期生		看護	施設・設備	食堂があればよかった。
14期生		看護	施設・設備	食堂がほしい。

自由回答 問11～19について

入学期	性別	学部	
17期生	男性	健康科学	現在の仕事内容には満足していますが、PTの収入が全国的に低い現状もあり、職場内でも転職者が常に居る現実です。もし、転職するとしたらPTを選ぶか？と言われると考えてしまうのは残念ですが仕方ない気もしています。
17期生	女性	健康科学	治療技術や評価法の実技などリモート授業や時間の制約によりできず今苦勞しています
17期生	男性	看護	私は知的欲求が強く、小学生の頃から興味がある分野の研究することが好きでした。そのため、看護学における教育の研究をしたいために健康科学大学看護学部に入り様々な現場を見たいと思いました。この研究をするためには学生のうちに幅広い知識を得て、現場を学ばなければいけないと考え、総合病院に就職しました。しかし私は体力がなく、すぐに体を壊してしまいました。仕事しているうちに体力がついてくると思いましたが、出来ませんでした。毎週寝込んでしまい、欠勤が相次いだため今では現場職に不向きである事が分かり、現場を諦めました。今後は他のやり方で研究ができるように試行錯誤してまいります。全ての事象は学びであります。お世話になりました。
17期生	男性	看護	災害看護に関わりたい。
17期生	女性	看護	実習や基礎・成人の先生方に指導してもらったことは、学生時代は辛いと思っていましたが、職に就いてからは基礎に過ぎなかったことだと気付かされました。先生に教わったことは、就職してからもちかされています。
14期生	女性	健康科学	将来的には実習指導者講習を受けて、職場で実習指導者になりたいと思っています。
14期生	女性	健康科学	実習も仕事も新型コロナウイルスの影響を大分受け満足しているとはとても言えません。

自由回答 問21～27について

入学期	性別	学科	
17期生	男性	健康科学	現在は少しずつですが職場でも任される仕事も増えてきています。なかなか大学の研修等に参加出来る体制ではありません。
17期生	女性	健康科学	大学生でしかできないことをもっとやってあげれば良かったと思う部分があるのでクラブ・サークル活動の充実と参加のし易さは大事だと感じます。 1年の時入りたいとは思いましたが、移動法がなく町の体育館へ行くことや時間外までの活動は難しく断念しました。 授業についてボトムアップでやってきて基本知識を持った上で専門的なことを学ぶ意義はあります。しかし、臨床実習や就職後臨床で専門知識・技術を求められるため実技がもっとあったら良かったと思いました。
17期生	男性	健康科学	研究者の研修を強く希望します
17期生	女性	健康科学	健康科学大学で過ごしたからこそ、今の職業に就くことができ、自分自身を持つことができました。健康科学大学での生活は、社会人になる大事な時期にもなるので、社会人になっての責任感や常識を学べる機会も増えたらより一層良いのではないかと思います。
17期生	男性	看護	松本にいたのでなんらかの手配があれば参加したいと思います。学校と臨床の違いをかなり身に感じていますので、ぜひ共有したいです
17期生	女性	看護	就職してから学ぶ分野も違うし、病院での研修があるので大学での勉強会はいらない。ただ、もう少し一般教養を深めることはどの分野でも必要なことなので、学んでおけばよかったと思う。さらに、臨床との差がないように学びをつなげていければ良かったです。
14期生	女性	健康科学	不当なタイミングで理不尽な留年措置を受けました。その次年度は同じような措置を行わなかった事が理解できません。
14期生	男性	看護	協力できる内容であれば協力できるが、働いてみて職場では効率も重視されているため看護学生に教えることができるかわからない。
14期生	男性	看護	就職先が遠方のため実習の受け入れも研修の参加も難しい。